

第3期 高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

目的

「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示した高知市がめざすべき人口の将来展望を実現し、人口減少問題を克服するための具体的な戦略

参考 高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

- <位置付け>**
- ・めざすべき将来の方向と人口の将来展望等を示し、地域住民と人口に関する認識を共有
 - ・「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要な基礎資料
 - ・総合計画をはじめ各種行政計画等の人口の将来展望に関する基礎資料

<計画期間> 2060年まで 45年間
<目標人口> 280,000人(2060年)

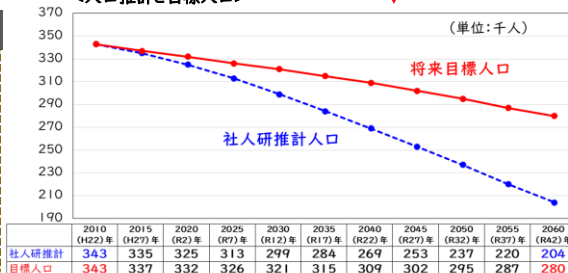
<人口の将来展望>

	2060年 高知市推計人口(2013年社人研推計)	204,121人
自然減の抑制	① 合計特殊出生率の上昇	44,804人増
	② 死亡率の改善	6,622人増
社会減の抑制	③ 転出超過抑制(2030年の15~24歳の転出超過ゼロ) 移住促進(移住組数)	24,036人増
	合計	75,462人増
	2060年 高知市目標人口	28万人

人口減少の克服に向けた基本的視点

- (1) 県外から人を呼び込むとともに人口流出に歯止めをかける
- (2) 若い世代の結婚の希望を実現する
- (3) 理想とする子どもの数の希望を実現する
- (4) あらゆる世代が健康でいきいきと暮らせる社会の実現
- (5) 周辺市町村との連携を進め圏域単位で取組を進める
- (6) 早期かつ長期的な取組の推進

<人口推計と目標人口>



これまでの取組

<第1期総合戦略>(計画期間:H27~R元年度)

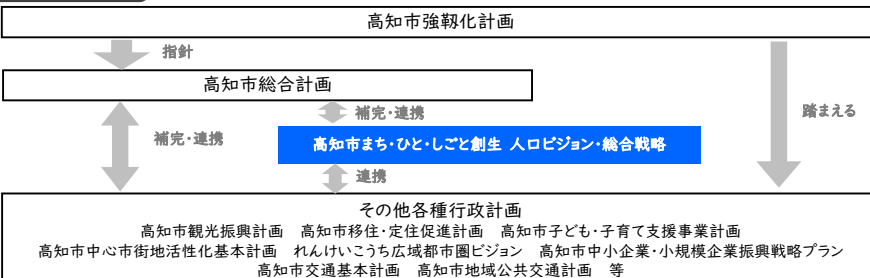
「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示した高知市がめざすべき人口の将来展望を実現し、人口減少問題を克服するための具体的な戦略として、取組全般を包括する内容で平成27年度に策定。

<第2期総合戦略>(計画期間:R2~6年度)

「若い世代」「UIJターン」「結婚・出産・子育て」「交流」「郷土愛」をキーワードとして、【地元定着・転出抑制】、【移住促進】を主な方向性に定め、焦点を絞った戦略へと見直し、取組の推進を図る。

→ 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を受けて、第2期の方針を継承・発展させながら、計画期間を1年前倒し、デジタルを横串に取組の加速化を図る新たな戦略を策定。

上位・関連計画



計画期間

2024(令和6)年度から2028(令和10)年度までの5年間

基本構成

高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

第3期 高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略

—デジタルを推進力に、豊かな生活と持続的に発展するまちをめざして—

市民が多様な暮らしや幸せを実現し、地域に愛着と誇りを持ち、将来にわたって住み続けたい・戻ってきたいと思える、持続的に発展するまちをめざします。

実現にあたっては、地域の産業振興や雇用を創出し、多様な人が関わり合い、安心して出産・子育てが実現できる、住みやすいまちづくりに向けたこれまでの地方創生の取組に、デジタルの力を加え、さらなる推進を図ります。また、SDGsやグリーンへの推進など時代の潮流を正しく捉え、地域の社会課題解決に努めるとともに、県や県内市町村との広域連携による相乗効果の発揮、また、民間企業、大学、金融機関、住民などの多様な主体とも共創し、戦略的に取組を推進します。

基本方針

基本目標



基本的方向

基本目標1	① 地産の強化を図る～農林漁業等の振興～ ③ 外商の強化を図る～観光振興～	② 外商の強化を図る～新市場開拓・販路拡大～ ④ 企業誘致や雇用創出など働ける環境づくり
基本目標2	⑤ 移住促進と受入体制の強化 ⑦ 特色ある教育による地域の活性化	⑥ 居住環境の整備 ⑧ 若者の地元定着の促進
基本目標3	⑨ 安心して妊娠・出産できる環境づくり ⑪ 将来家庭を築くための支援	⑩ 安心して子育てできる環境づくり ⑫ ワーク・ライフ・バランスの推進
基本目標4	⑬ 産学官民連携の推進 ⑯ 著しい少子高齢化への対応	⑭ コンパクトなまちづくり ⑰ いきいきと暮らし続けられる社会づくり ⑮ 自然環境との共生 ⑱ デジタル技術を活かした市民サービスの向上

施策

基本的方向を踏まえ実施する施策
 施策の進捗状況や効果検証のため客観的な指標(KPI:重要業績評価指標)を設定している

事業

施策の KPI を達成するために取り組む事業等

推進体制



進捗管理及び効果検証

戦略の実効性を高めるために、数値目標や KPIによる進捗管理・効果検証を行うとともに、PDCAサイクルによる着実な取組の推進を図ります。

第3期 高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

（数値目標）

基本目標 1

- ・個人市民税納税義務者数: 149,480人 (R4) → 147,600人 (R10)
- ・個人市民税納税義務者の総所得金額: 4,655億円 (R4) → 4,658億円 (R10)
- ・製造品出荷額等: 1,641億円 (R2) → 1,843億円 (R10)
- ・県外からの観光入込客数: 278万人 (R4) → 351万人 (R10)

基本目標 2

- ・県外からの移住組数: 348組 (R4) → 500組 (R10)
- ・15～24歳の県外への転出超過数: 535人 (R4) → 100人 (R10)

基本目標 3

- ・出生数: 2,015人 (R4) → 2,300人 (R10)
- ・「子育てしやすい」と感じる市民の割合: 37.6% (R4) → 50% (R10)

基本目標 4

- ・今後も高知市に住み続けたいと思う市民の割合: 90.9% (R5) → 100% (R10)

（基本目標）

（基本的方向）

（施策）

（重要業績評価指標KPI）

基本目標	基本的方向	施策	重要業績評価指標KPI
基本目標1 地産外産、観光振興等による産業活性化と安定した雇用の創出 	① 地産の強化を図る ～農林漁業等の振興～	①-1 農業の振興 ①-2 林業・漁業の振興 ①-3 商業の振興	・農産物の販売額 ・直販所販売額 ・認定農業者数 ・支援対象の林業就業者(累計) ・漁業生産額 ・商店街の空き店舗率 ・歩行者通行量
	② 外商の強化を図る ～新市場開拓・販路拡大～	②-1 産業の振興	・販路拡大支援対象事業者の商談成約額
	③ 外商の強化を図る ～観光振興～	③-1 観光の振興	・観光客の高知市観光の満足度 ・高知市内の延べ宿泊者数 ・外国人延べ宿泊者数 ・県外観光客の消費額 ・桂浜公園の来園者数
	④ 企業誘致や雇用創出など働ける環境づくり	④-1 事業創出と企業誘致 ④-2 いきいきと働ける環境づくり	・企業誘致に伴う新規雇用者数 ・新規就職者数(合同面接会を含む雇用促進事業) ・無料職業相談事業による就労相談数
基本目標2 新しい人の流れをつくる 	⑤ 移住促進と受入体制の強化	⑤-1 移住支援の充実	・県外からの移住相談件数 ・移住者の定着率
	⑥ 居住環境の整備	⑥-1 定住しやすい環境づくり	・国語、算数・数学の学力の全国平均値との比較 ・自己肯定感の高い児童生徒の割合 ・体力調査における全国平均との比較
	⑦ 特色ある教育による地域の活性化	⑦-1 学校教育の充実 ⑦-2 教育環境の整備	・地域と協働して学校づくりを行っている学校数
	⑧ 若者の地元定着の促進	⑧-1 青少年の健全育成 ⑧-2 高知商業高等学校教育の充実 ⑧-3 交流・連携の推進 ⑧-4 地域コミュニティの活性化	・青年センター登録団体数 ・青少年協ブロック共同事業参加者数 ・進路決定率 ・体験入学者数の割合 ・包括連携協定に基づく連携事業のうち地方創生に資する取組事業数 ・こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数
基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する、女性の活躍の場を拡大する 	⑨ 安心して妊娠・出産できる環境づくり	⑨-1 妊娠・出産期等の支援	・理想的な子どもの数と現実的に持たたいと考えている子どもの数との比率
	⑩ 安心して子育てできる環境づくり	⑩-1 乳幼児期等の支援	・待機児童数
	⑪ 将来家庭を築くための支援	⑪-1 子ども・子育て支援の充実 ⑪-2 心と体の健やかな成長への支援 ⑪-3 出会いの機会の提供	・放課後児童クラブの待機児童数 ・朝食を毎日食べている児童生徒の割合 ・高知チャレンジ塾への参加希望者に対する受入率 ・年間の通算マッチング数
	⑫ ワーク・ライフ・バランスの推進	⑫-1 男女が共に活躍できる社会づくり ⑫-2 いきいきと働ける環境づくり	・性別に関係なく、能力を発揮できていると感じている市民の割合 ・男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数
基本目標4 バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により安心な暮らしを守る 	⑬ 産学官民連携の推進	⑬-1 交流・連携の推進(再掲)	・れんげいこうち広域都市圏ビジョンで設定する成果指標の達成率 ・包括連携協定に基づく連携事業のうち地方創生に資する取組事業数(再掲)
	⑭ コンパクトなまちづくり	⑭-1 バランスの取れた都市の形成 ⑭-2 交通体系の整備	・中心市街地の居住人口 ・中心市街地の活性化に関する市民満足度 ・居住誘導区域内の人口 ・公共交通利用率
	⑮ 自然環境との共生	⑮-1 自然と人、人と人が共生する地域づくり ⑮-2 豊かな生きものの保全	・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数 ・鏡川流域を遡上する天然アユの数(直近3か年の平均値) ・環境学習会参加者数 ・水生昆虫による水質モニタリング地点の数
	⑯ 地域コミュニティの活性化	⑯-1 地域コミュニティの活性化(再掲) ⑯-2 NPO・ボランティア活動の推進	・地域で何らかの近所づきあいができていると感じている市民の割合 ・町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合 ・地域内連携協議会の認定地域数 ・こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数(再掲) ・町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合(再掲) ・市民活動サポートセンターの利用団体数
	⑰ いきいきと暮らし続けられる社会づくり	⑰-1 高齢者の介護予防と社会参加の促進及び地域生活支援	・高齢者の自覚的健康が「とてもよい」「まあよい」の割合 ・健康寿命(65歳の平均自立期間)
		⑰-2 地域福祉の推進	・地域住民が助け合っていると思う市民の割合 ・町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合(再掲)
		⑰-3 生涯学習の推進	・生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合 ・個人貸出点数(オーペビア高知図書館)
		⑰-4 生涯スポーツの推進	・成人の週1回以上のスポーツ実施率 ・高知市スポーツ施設利用状況 ・高知市が実施するスポーツ教室の定員充足率
		⑰-5 芸術・文化活動の推進	・芸術文化を鑑賞または芸術・文化活動を行う市民の割合
	⑱ デジタル技術を活かした市民サービスの向上	⑱-1 デジタルを活用した住民とつながる手段の多様化	・地域の伝統行事や祭り、食文化などに愛着を持っている市民の割合 ・地域文化や民俗文化等の保存・継承・活動を行っている団体の数 ・社会科自由研究作品展出品校数 ・国の重点計画で定められた手続のうち、オンライン化した行政手続等の割合
⑲ 著しい少子高齢化への対応	⑲-1 地域特性を活かした地域づくり	・高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画で取り組む事業数 ・乗合タクシー利用者数 ・集落活動センター主催イベントの開催回数	

デジタル技術も活用しながら地方創生の取組を加速化